

# スズカンエネルギーニュース 第2号

～安心・安全のために～



安全の為の第一の窓口をなれるよう努力していきます。

ご協力をお願い致します。

私自身、まだまだ対処できることは少ないのですが、この紙面を見ていただいているお客様が、お使いのガス設備に異常を感じられた場合にすぐに相談していただける様に良好な関係を構築させていただき、安心

設備点検のあり方として「問題が起きてから対処する」のではなく「兆候が見られた段階で確実に対処する」意識を持ち、お客様の安心と安全を保障できる体制を作っていきます。

わずかな異常も見逃さないように徹底的に定期調査を行っていかねばなりません。そのためにお客様にも調査に入らせていただくための

片づけてしまうものではなく、我々の責任の大きさを改めて見つめ直し、より安全な供給体制を構築する契機として捉える必要があると考えています。

私たちの立場から考えますと、この事故は単なる設備トラブルとして片づけてしまうのではなく、我々の責任の大きさを改めて見つめ直し、より安全な供給体制を構築する契機として捉える必要があると考えています。

この大きな事故を引き起こしたことを考えると、わずかな油断も許されないと強く実感しました。

## 小さな穴の、大きな事故

2026年2月、北海道札幌市手稲区の住宅街で、大きなガス事故がお

きました。大きな爆発と火災によって5名の死傷者を出したこの事故の

原因は、地下に埋設されているガス管からのガス漏れでした。調査による

と問題となったガス管には、わずか2ミリ程度の小さな穴が開いていた

とされています。このほんの小さな穴から漏れ出たガスが周囲に広がり

引火し、爆発に繋がった可能性が高いとの事。この数ミリの配管損傷が、

この大きな事故を引き起こしたことを考えると、わずかな油断も許され

ないと強く実感しました。

私たちの立場から考えますと、この事故は単なる設備トラブルとして

片づけてしまうものではなく、我々の責任の大きさを改めて見つめ直し、

より安全な供給体制を構築する契機として捉える必要があると考えてい

ます。

設備点検のあり方として「問題が起きてから対処する」のではなく「兆

候が見られた段階で確実に対処する」意識を持ち、お客様の安心と安全を

保障できる体制を作っていきます。

わずかな異常も見逃さないように徹底的に定期調査を行っていかね

ばなりません。そのためにお客様にも調査に入らせていただくための

ご協力をお願い致します。

私自身、まだまだ対処できることは少ないのですが、この紙面を見てい

ただいているお客様が、お使いのガス設備に異常を感じられた場合に

すぐに相談していただける様に良好な関係を構築させていただき、安心

安全の為の第一の窓口をなれるよう努力していきます。

**注意** 訪問、電話やホームページを利用した切替勧誘業者が特定商取引法等に違反した勧誘をし、トラブルに発展している報告があります。

お住まいの地域のガス料金調査に伺いました。

公的機関が消費者に対し、料金の調査をすることはありません。当協会((一社)三重県LPガス協会)を名乗って、このような違法勧誘をしている業者があるようです。当協会ではこのような調査は致しません。ご注意ください。

今より、お安くなりますよ。この地域で最安値ですよ。

おいしい話ですが、その\*地域のLPガス料金と相対的に比較して極端に安価な料金の場合、その料金がいつまで続くのか?保安の維持、管理や安定供給が維持できるのかな? ※下記に記載の石油ガス情報センターのホームページでご確認ください。

現契約先のLPガス販売店のことを悪く言う。

契約してもらう為に、現契約先のLPガス販売店のことを悪く言う会社って、おかしくないですか?

個人の情報(検針票や請求書等)を見せてほしい。

検針票や請求書は個人の情報が記載されています。見ず知らずの第三者に安易に見せては…。このようなことを求めるのは、おかしい話です。

詳しくは…

上記の他に、注意が必要な“おいしい・おかしい話の事例”や“特商法等に抵触した事例”は、右のQRコードを読み取っていただくことでご確認いただけます。クーリングオフについても、こちらからご確認下さい。(スマホ対応ページ) 三重県LPガス協会ホームページをご覧ください。(http://www.miejpg.or.jp/)

LPガス料金について、地域ごとのモニター情報は、石油ガス情報センターのホームページ(https://oil-info.ieej.or.jp/)よりご確認ください。右のQRコードを読み取っていただくことでご確認いただけます。

**あやまって契約した場合!**

表面記載の現契約先販売店、若しくは、三重県LPガスお客様相談所へご連絡下さい。契約から8日以内ならクーリングオフ制度で解約できます。\*上記期間が過ぎても、解約できるケースもあります。

暮らしの中のクリーンエネルギー、LPガスをより安全に、より快適に

一般社団法人三重県LPガス協会  
Tel.059-227-6238  
〒514-0803 津市柳山津興369番地の2

三重県LPガスお客様相談所  
受付時間 9:00~17:00 土、日、祝除く  
TEL:059-227-9905

## 様々な講習を受けて、知識を深める

LPガスの取扱をするにあたって、様々な知識が必要になりそれを補うために様々な講習があります。

私自身まだまだ知らないことが多いので、いろいろな講習に参加しています。

直近でも、2度ほど講習に参加してきました。今回はその講習の内容について少し紹介させていただき、どのようなことをしているのかを知ってもらえればと思います。

初めに参加した講習ではガス供給において必須となる機器である「ガスメーター」について学びました。

ガスメーターの主な役割は、使ったガスの流れの量を計測すること。そしてもう一つ重要な役割として内蔵されている安全装置によってガスの危険を未然に防ぐという機能があります。この安全装置にはいろいろな危険を感知してくれるのですが、例えば長時間使用遮断というものがあります。この機能はガスの消し忘れ防止のための機能でもあるのですが、他にもガスの微小漏れを感知して止めてくれる機能があります。これにより異常が出た時に迅速な安全対策を自動で行ってくれます。

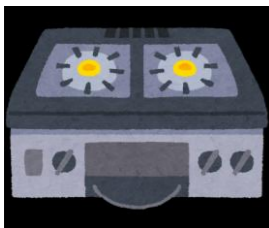
しかし少し欠点もありまして、例えば大型の施設などで1日中お風呂の為に給湯器が稼働している状態などや、飲食店さんでお湯を長く炊き続けている時などでもこの「長時間使用遮断」が作動してしまうこともあります。また、長時間使用のほかにも短時間で一度に大量のガスを使用するとガスの異常を検知したとして安全装置が働きます。しかし普段の使用で、ある程度の時間で使用していてもなかなかガスメーターが止まることはないと思います。それはメーター自身がガスの使用パターンを学習しているからなのです。これにより各施設や飲食店さんなど、それぞれに必要な稼働を安定して支えることが出来るのです。この他にも震度5以上の地震の時にガスメーターを停止して被害を防ぐ機能もあり、非常に頼もしい存在になっています。

## 身近なガス機器の仕組みを見よう

最近、ガスについてお問合せいただくのが、ガスコンロの赤火についてです。

この赤火、炎が赤く、とても大きなものになり少し怖さを感じたり他にも使用しているお鍋の底を黒くしてしまったりと、とても厄介な現象です。では、なぜ赤火が発生するのか？一つは調理中のお料理から出てくる塩分や油分が炎に反応することによって発生することがよくあります。そしてもう一つが、燃焼機器に送られる空気が足りなくなることによって発生するものです。長く料理の為にコンロを使っていると細かいゴミがバーナーの口に詰まってしまうことがあります。そうすると必然的に出てくる炎は空気が足りない状態になってしまったり赤火が発生します。この対処にはバーナーの掃除をすることで、正常にガスと空気が通りしっかりとした青い炎になります。それでも赤火が出る場合はコンロ手元にある空気調節つまみ(レギュレーター)を操作することでガスと空気の割合を調節し赤火を解消することが可能です。しかし空気の入れすぎにも注意が必要です。空気を入れすぎると、今度は火がコンロから離れて点火する「飛び火」の状態になってしまいます。この状態では火力が弱くなったり、点火しづらかったりしてしまいます。ガスと空気の割合がちょうど良いのが安全に使っていただけるポイントです。

赤火の発生がうまく行かない時や、掃除をしても赤火が解消されない時はスズカンにご相談ください。



るのです。

みなさんの近くにあるこのガスメーターは、単純にガスの使用量を計るものではなく、様々な安全装置でもって皆様のガスの使用に対して安心安全を提供する為のものでもあります。

困みに、もしガスをすっかり消し忘れてガスメーターが止まってしまった場合、お客様自身でも復帰させることができます。詳しい手順に関しては、私共スズカンから配布させてもらっているガスメーターの復帰方法を記したシールに写真付きで載っていますのでよろしければこちらも参考にしてくださいと思います。それでも復帰しない時はすぐに対応いたしますのですみやかにスズカンにご連絡いただけますようお願いいたします。

講習ではLPガスのもう一つの使い方として、発電機に利用するというのがありました。LPガスを容器に封入して使用するLPガスは災害時に電気が通らない状況などにおいて、発電機とで接続することによって電気を作り温かいお湯や身の回りの電気機器の供給源となることも可能です。これからの季節、温かくはなってきますが、夜の寒さを凌いだりするのに、火や電気はとても重要になると考えています。これらをすばやく用意できるLPガスは使用方法を間違わなければ頼もしい存在だと言えます。

もしも災害時に、LPガスを使用している発電機を運用することをお考えの際は、こちら是非スズカンにご相談いただければと思います。

このように講習で学んだことを活かして、皆様のお役に立てるようこれからも日々努力して参りますので、今後共よろしくお願い致します。



↑※コンロのタイプもいくつかありますが、基本的には機器のガスの入り口付近に調節できる部分があります。